



名古屋市議団は、クオリティライフ21城北の設立を応援しています

# クオリティライフ21城北の紹介

**クオリティライフ21城北とは?** 安心を支え、いきいきとした暮らしを支援し、ともに理解し尊重しあえる心を育む「保健・医療・福祉の結實的エリア」として、隣接する志賀公園と一体となったまちづくりを進めています。「いきいき」として暮らす市民があISAれる、21世紀の生活の質の高い都市を支えることから、「クオリティライフ21城北」と名づけました。



設備予定地	内容	今後の予定	21年度予算額
名古屋市北区平手町1丁目1番1ほか 面積:約5ha	西部医療センター中央病院(仮称)、陽子線がん治療施設、健康増進支援施設、重症心身障害児者施設等の整備	平成21年度 全天候回廊の設計等 平成22年度 西部医療センター中央病院(仮称)完成 平成23年度以降 陽子線がん治療施設、健康増進支援施設、重症心身障害児者施設等完成	一般会計 1,481,860千円 病院事業会計 5,075,000千円

# 自由市民

## 全区版

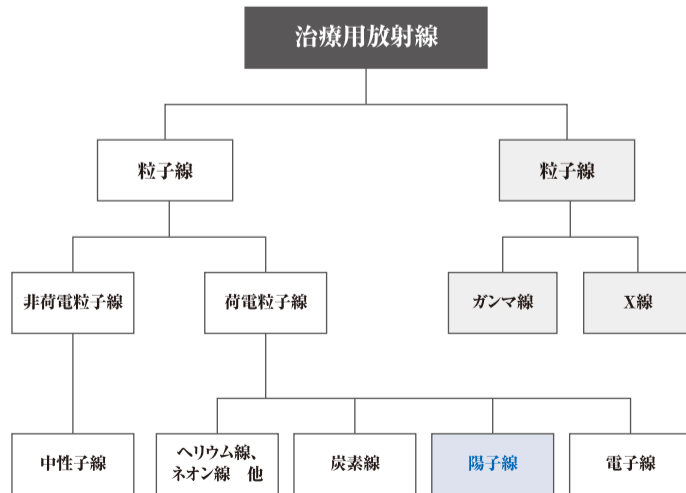
9月18日(金曜日)  
毎月8・18・28日発行

発行所 自民党名古屋市議員  
名古屋市中区三の丸3丁目1番1号  
(名古屋市役所内)  
電話(大代)961-1111

市議会議員団ホームページ  
<http://www.jimin-nagoya.com/>

## 粒子線の特徴を紹介

粒子線治療は、水素や炭素などの原子核を用いて、加速器で高速に加速した粒子線をがん細胞に照射する治療法であり、現在がん治療法には陽子線と炭素線が用いられています。クオリティライフ21城北では、この陽子線を用いた最新の治療施設を設備していきます。



- 正常組織への損傷を最小限にすることが可能
- 身体の機能と形態を損なわない
- 高齢者にも優しい治療が可能
- 社会生活との両立、復帰がしやすい

## がんの治療方法

現在、中心となっているがんの治療は、①外科治療、②放射線治療、③科学治療の3つであり、粒子線治療は放射線の一種です。がんの治療では、これらの中から治療法を選択する場合や、これらの治療法を効果的に組み合わせた治療をする場合があります。

手術でがん病巣を切除	外科療法
開胸・開腹手術 内視鏡手術 他	
放射線でがん細胞を破壊	放射線療法
リニアック(X線・電子線)治療 粒子線治療 他	
薬でがん細胞を破壊	科学療法
抗がん剤、分子標的薬剤他、 さまざまな薬剤が開発中	

クオリティライフ21城北では、「クオリティオブライフ(QOL...生活の質)」に優れた治療の実現に向け、最先端のがん治療法である「陽子線がん治療」を提供いたします。近年、がん(悪性新生物)による死亡率が増加しています。がんで苦しんでいる人を一人でも多く救いたい、その思いが最先端の治療法提供を実現可能にしました。市議団も施設の実現を応援しています。

**クオリティオブライフ**  
陽子線がん治療施設の整備についての概要!!

## 「陽子線がん治療」のお知らせ

### 最先端のがん治療法